

令和元年第4回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	23	後藤錦信	<p>1 大崎市地域創生に向けての学校教育の環境整備について</p> <p>(1) 人口減少時代における小中学校のあり方と教育環境の整備について</p> <p>ア 少子高齢化や地域創生に向けて取り組む中で、大崎市が目指す教育の現状と課題について</p> <p>イ 平成24年3月に策定された大崎市学校教育環境整備指針は12年間の実施期間であるが、これまでの取り組み成果と、来年度は最終の見直し時期となるが、今後の計画について</p> <p>ウ 大崎市の学校再編の進捗とこれからの取り組みについて</p> <p>エ 幼小中連携教育や小中一貫校（義務教育学校）の導入に向けての取り組みについて</p> <p>(2) 統廃合後の施設の有効活用についての進捗と、今後の取り組みについて</p> <p>(3) 児童生徒の危機管理体制構築について</p> <p>ア 防犯カメラ等、設備、備品の整備の計画と進捗、現状について</p> <p>イ スマートフォンや携帯電話の所有状況と指導、相談の現状について</p> <p>2 大崎市在住の高校卒業生をおおさき宝大使に</p> <p>(1) 高校に協力を依頼しながら、高校生を「おおさき未来宝大使」に任命し、大崎市のさまざまな特典のついた名刺を送り、市外の就職先、進学先での出会いの中で、大崎市を積極的にPRする施策の実施について</p>
2	27	小沢和悦	<p>1 台風19号被害と国・県に対する「改良復旧」の働きかけについて</p> <p>(1) 国河川管理の吉田川には豪雨に弱い構造上の問題があるのではないかと。よって、その問題の早急な解決を求めるべきではないかと</p> <p>(2) 県管理河川の渋井川、渋川、名蓋川は、決壊箇所の復旧だけでなく総合的な堤防強化が必要。県に対し「多田川ブロック河川整備計画」の早急な着手・完了を求めるべきではないかと</p> <p>(3) 多田川のバックウォーターによる中小河川の水害防止対策工事の着手と完成時期は約束されているのか</p> <p>2 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 政府主催行事への参加は、市と市民利益を基準に判断しているか</p> <p>(2) 安倍政権による二度にわたる消費税増税をどう見ているか</p> <p>(3) 安倍政権が行っている日米貿易交渉の結果と経過をどう見ているか</p> <p>(4) 外交問題と市長の姿勢</p> <p>(5) 政府に核兵器禁止条約への署名、国会に批准を求める</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
3	17	関 武徳	<p>ことについて</p> <p>1 台風19号被災を踏まえた今後の防災力向上への取り組みについて</p> <p>(1) 台風19号で受けた中小被災箇所も含めた検証が必要と思うが、所見を伺う</p> <p>(2) 消防団の排水作業の装備について</p> <p>(3) ハザードマップの地域での活用についての課題をどう受けとめるのか</p> <p>(4) 常襲冠水エリアの排水路改良整備の効果と今後の課題</p> <p>(5) 避難所の機能拡充の検証と対策の考え</p> <p>(6) 福祉避難所の充実のための体制整備</p> <p>(7) 市民ボランティア意識醸成への取り組みについて</p> <p>2 国道47号渋滞解消への取り組みについて</p> <p>(1) 渋滞緩和・解消への整備はどう進んでいるか</p> <p>3 都市計画道路李塚新田線の進捗と、桜ノ目橋信号交差点部の渋滞解消について</p> <p>(1) 都市計画道路李塚新田線整備計画の進捗を伺う</p> <p>(2) 県道一迫線桜ノ目橋交差点部（桜ノ目地区側）の改善への取り組みについて</p>
4	12	相澤久義	<p>1 台風19号の検証について</p> <p>(1) 通行どめになった国道4号、県道整備</p> <p>(2) 浸水被害地区の整備</p> <p>(3) 避難所運営について</p> <p>ア 各指定避難所の定員数は</p> <p>イ 通行どめにより指定避難所にたどり着けない人もいと聞かすが、今後の対応は</p> <p>ウ 障害者・高齢者対応は</p> <p>2 都市計画と都市計画税について</p> <p>(1) 三本木地域都市計画区域、用途地域の整備計画について</p> <p>ア 都市計画決定道路の事業整備計画は</p> <p>イ 住居専用地域の宅地造成計画は</p> <p>ウ 工業専用地域の整備、企業誘致等は</p> <p>3 来春オープン、日本一のパークゴルフ場の整備は万全か</p> <p>(1) 排水対策等の整備</p> <p>(2) ひまわり園周辺の交通安全対策</p>
5	18	遊佐辰雄	<p>1 台風19号被害の復旧状況と今後の見通しについて</p> <p>(1) 岩出山地域の内川、蛭沢川の土砂災害の復旧と見通しは</p> <p>ア 有備館裏の内川沿いの土砂崩れの影響で傷んだ遊歩道等の復旧見通しと、急傾斜地の土どめ工事を急ぐべきではないか</p> <p>イ 蛭沢川の土砂崩れがいまだにそのままの状況だが、河川内の倒木と土砂撤去を急ぐべきではないか。あわせて付近の土どめ工事にも県に強く要望すべきであり、そ</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
6	28	佐藤 勝	<p>の見通しは</p> <p>(2) 国道 47 号, 川渡大橋沿いに建立されていた大型の鳴子こけしが倒壊したが, 再設置の見通しを伺う</p> <p>2 未給水区域への上水道整備について</p> <p>(1) 未給水区域への上水道整備を計画的に推進すべきではないか</p> <p>ア 鬼首地域の未給水区域への上水道整備を一般会計から支出しても, 計画的に推進していくべきではないか</p> <p>イ 給水区域内になっている未給水世帯への整備推進は, どう進めようとしているのか</p> <p>1 次世代に誇りうる世界農業遺産として, 大崎地方の農業が生業として自信を持って環境保全型の食糧生産ができる制度を創ることはできないか</p> <p>(1) おおさき市地方創生総合戦略との整合性を図るため, 2 年間の延長に世界農業遺産保全計画を加える政策提起を行う</p> <p>ア 世界農業遺産基金制度の創設について伺う。あわせて, 認定を受けた自治体間の連携を深めるための全国サミットの開催について伺う</p> <p>イ 「国立の環境国際大学」または「ジャパンアグリカレッジ」(仮称)の設立について伺う</p> <p>ウ ささ結として販売できる面積と生産者農家戸数は。また価格をどう設定し, 差別化を図るための戦略と生産者の留意点と将来の目標面積は</p> <p>エ 小学生の副読本として活用できるようにとのことだが, なぜ中学生は対象外なのか。また実践, 体験を学んでこそ次世代につながると思うが, その体制整備計画をどのように描いているか</p> <p>オ 農家が営農を続けることができる新たな市独自の支援策として, どんなことを模索しているか。また, 若手就農と同じく 60 歳を超えての U ターンの人々も新規就農者とみなして農家としてひとり立ちする仕組みはどうつくるか</p> <p>カ 未来産業創造おおさきの成果を積み上げていくため, 産業全体のコーディネーター役が必須の条件と考えるがどうか, 市長の産業政策の本気度を伺う</p> <p>キ 「道の駅パワーアップ検討会議」を立ち上げ, 市内 3 つの道の駅の差別化を図ってはどうか。また, 市が音頭をとって 3 つが連携した一大イベントなどを開催してはどうか</p> <p>ク これから目指す 4 つ目の道の駅のコンセプトは何か</p> <p>ケ 産業フェアとあわせて, 大崎市の産業祭をやることはできないか</p> <p>コ 総合戦略で首都圏にアンテナショップの件は, 後ろ向きの答弁だったが, だから産業の振興は市民満足度が一番低いのではないか。2 年間延長で削除するのか</p>
7	4	山口文博	1 台風 19 号水害対応と復興支援について

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
8	2	伊勢健一	<ul style="list-style-type: none"> (1) 一級河川吉田川の破堤による水害の対応について <ul style="list-style-type: none"> ア 応急仮設住宅を設置しなかった理由を伺う イ 罹災調査が特定箇所から住宅別に変わった理由と、被害者生活再建支援制度によるり災判定の是正について伺う ウ 旧鹿島台第二小学校の避難所の閉鎖を12月1日にした理由を伺う (2) 志田谷地地区の浸水住宅地を高台移転も含めた地区復興について伺う (3) 被災農業者・農業法人への支援について伺う <p>2 旧鹿島台第二小学校を防災施設とした利活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 台風19号の教訓として、防災教育施設や災害避難施設への改修・整備をすることについて伺う <p>3 避難所へ危険で行けない避難誘導路について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 避難所までの橋梁や道路が危険で避難できないことについて伺う <ul style="list-style-type: none"> ア 大雨の夜道では視界が悪く、狭い橋梁や道路では車の通行が怖くて危険な状況について伺う イ 避難所までの道路が濁流となり、水圧で車が流されそうな危険で避難が困難な現状について伺う
9	19	只野直悦	<ul style="list-style-type: none"> 1 公共空間としての公園のあり方について <ul style="list-style-type: none"> (1) 市内の公園の管理運営状況 (2) 公園に対する市民の期待と、それにどのように応えていくのか (3) 望ましい公園のあり方 2 公共交通について <ul style="list-style-type: none"> (1) 市民バスの運営状況 (2) 運営状況の課題と解決に向けた取り組み 3 地方創生における大学との連携について <ul style="list-style-type: none"> (1) 大崎市と大学との連携した取り組み (2) 産官学民との連携した取り組み (3) 市民病院における大学との連携 4 教育について <ul style="list-style-type: none"> (1) 公立小中学校における教科書採択の過程 (2) 中学校教育における専門教員の現状 (3) 学校図書館の司書の配置の現状と一般開放
			<ul style="list-style-type: none"> 1 中小河川の防災対策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 化女沼ダムの台風19号における機能と洪水調節について <ul style="list-style-type: none"> ア 導水地点での分流を洪水時に弾力運用について (2) 八反田放水路計画の現状と今後の課題について <ul style="list-style-type: none"> ア 中小河川改修事業田尻川改良工事では化女沼ダムと八反田放水路計画はセットであったが、今後の見通しについて (3) 田尻川本川の治水安全度の現状認識と対策について 2 市民が安心できる医療の提供について

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
10	14	木村和彦	<p>(1) 大崎市民病院における認知症医療のあり方について ア 大崎市民病院事業外部評価検討会議の評価について イ 認知症医療を本院が中心となる検討について ウ 田尻診療所の実績評価とあるべき姿について</p> <p>1 指定管理制度について (1) 指定管理者の選考基準 (2) 財政運営上、制度の利点と検討事項 (3) 指定管理にすべき財産運用の考え方</p> <p>2 大崎市民病院の運営について (1) 本院と分院の役割、国の指導指針と市民病院の運営計画 (2) 人口形態の推移と診療科目の考証 (3) 民間病院と公立病院の振り分け</p> <p>3 消防団の活用について (1) 指揮系統の発令と、消防団員の安全確保</p>
11	11	中鉢和三郎	<p>1 何とかならないのかイノシシ被害対策④ (1) 今年度のイノシシ対策の目指す成果 ア 捕獲目標頭数 200 頭の達成見通し イ さらに上積みの可能性 ウ 被害認知件数、被害面積及び被害金額並びに、目撃件数の縮減は果たせるのか エ 生息密度や個体数の調整目標と達成見通し (2) 対策の充実 ア 鳥獣被害対策実施隊の強化状況 イ 被害に遭っている農業者や地域住民を巻き込んだ対策の実施体制構築は進んでいるのか ウ 旧 1303 特区制度の有害鳥獣捕獲補助員を編成しての対策は考えないのか エ イノシシ対策専従職員の配置を考えるべきでないか オ ICTの活用による新たな対策 (3) 捕獲後の処分 ア ジビエとしての利用のための調査は行っているのか イ ジビエとしての利用する際の問題は何か</p> <p>2 宿泊税導入の問題点について (1) 宿泊税を取ることで、込々宿泊代金のアップによる宿泊客減少リスクをどのように考えているか (2) 宮城県の検討会議の議論の中で、法定外目的税が適当と判断したようだが、直接税と間接税の議論が欠けていると考えるが、間接税の徴収義務者の意見を十分に参酌しない姿勢は大きな問題ではないか (3) 検討会議の議論の中で関係者からの意見聴取で集められた問題点を指摘する声に対し、十分な対策や配慮がなされたと考えられるか (4) 現状、大崎市の入湯税の滞納はどれくらいあるのか</p> <p>3 木質バイオマス資源利活用の本音 (1) 木質バイオマス資源の利活用の本市方針は、絵に描い</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
12	20	相澤孝弘	<p>た餅か</p> <p>(2) バイオマスタウン構想やバイオマス産業都市構想は、経済性や実現可能性を棚上げしたものか</p> <p>1 台風 19 号災害から今後検討すべき課題について</p> <p>(1) 水害への備えについて</p> <p>ア 資機材のストック、情報収集伝達について伺う</p> <p>(2) 防災体制について</p> <p>ア 消防団の水防訓練について伺う</p> <p>イ 地域自主防災組織の対応について伺う</p> <p>(3) 被災後の廃棄物等の処理体制について</p> <p>ア 回収収集委託業者との連携について伺う</p> <p>(4) 被災支援と費用について</p> <p>ア マニュアルの検証について伺う</p> <p>イ 復旧費用の事業別一覧について伺う</p> <p>(5) 防災強化に向けた考えと国・県へ求める事項について</p> <p>ア 水害が恒常化すると考え、対策強化に向け国・県に強く求めていく事業について伺う</p> <p>2 地球温暖化防止への大崎市の対応について</p> <p>(1) 異常気象の発生要因と地球温暖化問題対策について</p> <p>ア 年々増加する自然災害は二酸化炭素排出量の増加が原因とすれば、どのような取り組みができるのかについて伺う</p> <p>(2) 市民への啓蒙と意識の徹底について</p> <p>ア 日常生活での取り組みの具体的な事例について伺う</p> <p>3 有害鳥獣駆除対策について</p> <p>(1) 現行の対策から拡大すべきイノシシ駆除の考えについて</p> <p>ア 電気柵の設置推進と補助の拡大について伺う</p> <p>イ 捕獲資材の補助対象拡大と支援について伺う</p> <p>(2) 許可がなくても駆除（捕獲）できる方策の検討について</p> <p>ア わな免除で通年駆除（捕獲）ができる制度について伺う</p>
13	8	八木吉夫	<p>1 水害対策について</p> <p>(1) 鹿島台志田谷地地区の水害に遭われた方々の生活再建について、集団移転も含めて所見を伺う</p> <p>(2) 雨水内水での、常襲冠水地区の床上床下浸水等、浸水被害をなくすための方策を伺う</p> <p>(3) 洪水災害時、古川市街地北部エリア住民がどこへ避難したらよいか、避難場所について伺う</p>
14	22	山田和明	<p>1 新斎場を整備することで、市民にとって公平性のある行政サービスの提供について</p> <p>(1) 新斎場を小野新田裏地区に整備することで、西部地区に偏り東部地区から遠く、市民は行政サービス提供の公平性を享受できるのか、市としての所見を伺う</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>2 台風19号被害から新たに整備事業として追加しなければならないことについて</p> <p>(1) 姥ヶ沢地区の雨水排水事業の前倒し工事を市単独でも取り組むことについて</p> <p>(2) 北排水路と西沢排水路の水を東側二線堤バイパス沿い用排水路に流入する工事をする事について</p> <p>(3) 豪雨により巳待田排水路から姥ヶ沢地区側に越流し流れ込み、もともと姥ヶ沢地区側の高さが不足しているためその状況が起きるので、その問題解決に向けた取り組みについて</p> <p>(4) 山王江機械排水路の土砂上げの取り組みについて</p> <p>3 台風19号豪雨災害による住家の被害認定について</p> <p>(1) 志田谷地地区の被害認定の進め方について</p> <p>(2) 志田谷地地区の被害認定で不公平感が生じていることへの、今後の大崎市の取り組みについて伺う</p>
15	15	加藤善市	<p>1 働き方改革関連法と大崎市の対応について</p> <p>(1) 職員の残業時間について</p> <p>(2) 職員の有給休暇について</p> <p>(3) 均等均衡待遇について</p> <p>(4) 臨時職員の待遇について</p> <p>(5) 市民病院の医師、看護師等の働き方について</p> <p>2 農業の振興策について</p> <p>(1) 後継者確保について</p> <p>(2) 高齢者の農業への参加について</p> <p>(3) 地産地消への取り組みと課題について</p> <p>(4) 農産物の商品化の現状と課題について</p> <p>(5) コスト削減策について</p> <p>3 地酒で乾杯を推進する条例について</p> <p>(1) 地酒で乾杯を推進する条例ができたが、市の対応について</p>
16	16	横山悦子	<p>1 台風19号豪雨被害から考える防災の取り組みについて</p> <p>(1) 4年前の9.11「関東・東北豪雨」の教訓を踏まえ、台風19号の甚大な被害状況を見て、市民の安全・安心の生活を守るための防災・減災、そして国土強靱化についてどう感じたのか。また、本市の対応策について伺う</p> <p>(2) 大雨や台風の災害発生時、河川決壊場所の具体的な確認と市民への周知について</p> <p>(3) ハザードマップの全戸配布、避難経路の確認、地域や関係機関と連携した防災教育について</p> <p>(4) 配備されていない地域に防災行政無線屋外拡声器と戸別受信機の整備、防災ガイドブックの各戸配布について</p> <p>(5) 営農者に対する県、市の農業機械等のかさ上げ助成金について</p> <p>(6) 吉田川、渋井川、名蓋川、国・県管理河川の今後の復</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>旧工事計画について</p> <p>(7) 生活家電セット寄贈, 見舞金と義援金の配布状況について</p> <p>(8) 福祉避難所とペット同伴避難所開設について</p> <p>(9) 避難所・体育館へのエアコンの必要性和設置について</p> <p>2 幼児教育・保育の無償化について</p> <p>(1) 乳幼児の待機児童数と来年度に向けた待機児童数の今後の計画について</p> <p>(2) 幼児教育・保育の無償化に伴い保育料や主食等の値上げはないのか</p> <p>(3) 保育士の待遇改善策と保育の質の向上状況は</p> <p>3 宮城県の水道民営化と大崎市の関係について</p> <p>(1) 宮城県は, 「改正水道法」により「民営化」導入を検討しているが, 大崎市にとってのメリット・デメリットについて伺う</p>
17	1	早坂 憂	<p>1 大崎市の自治体アプリについて</p> <p>(1) 市の広報や防災無線, 子育て支援関連の情報, そして市のイベント情報やその他のコンテンツを充実させて, 手軽に情報を得られるようにしてはどうか</p> <p>(2) 防災無線に関連して, ひとり暮らしの年配の方に戸別受信機を貸し出しできないか</p> <p>2 大崎市の教育について</p> <p>(1) 文部科学省より 10 月 25 日に通知された「不登校児童生徒への支援の在り方について」を受けて, 市の所見は</p> <p>(2) いわゆる「学校復帰前提策」が廃止されるが, 今後の対応について</p> <p>3 下地獄源泉群について</p> <p>(1) 現在までの作業の進捗状況は</p> <p>(2) 鳴子への観光客数の動向について</p> <p>(3) 地元と一体となったPR等の取り組みについて</p>
18	6	佐藤仁一郎	<p>1 たび重なる豪雨災害を教訓とする減災対策について</p> <p>(1) 田んぼダムによる防災・減災の取り組みについて伺う</p> <p>(2) 被災した農業用排水機場の改良復旧と施設浸水防止対策について</p> <p>ア 農業用排水機場について, 継続し被災する施設は, 新基準を満たした施設に更新すべきであり所見を伺う</p> <p>イ 修繕復旧を行うときは, 電気設備や燃料タンク, 排水ポンプなどのかさ上げを行うべきであり所見を伺う</p> <p>ウ 豪雨が想定されるときは, 事前に重機を待機するなどの対策をとるべきと思うがいかがか</p> <p>(3) 大規模太陽光発電施設建設時には, 先に調整池を設置すべきと考える, 所見を伺う</p> <p>(4) 豪雨が想定されるとき, 慢性的に排水能力を上回る流量が予想される排水機場には, 事前に排水ポンプの出動要請を行い, 急激な増水に備えるべきであり所見を</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
19	24	氏家善男	<p>伺う</p> <p>(5) 国道4号三本木地区音無と蟻ヶ袋間は、何度も冠水し通行どめとなる。対策を国・県に求めるべきであり所見を伺う</p> <p>ア 荒川堰用水路の慢性的越流に対する対策を伺う</p> <p>イ 上三区坂本排水機場の改良復旧を強く求める、所見を伺う</p> <p>ウ 蟻ヶ袋地内にある排水樋管を、排水機場に格上げするとともに、国道4号を横断する排水溝も改良するなど、策を講じるべきであり、所見を伺う</p> <p>(6) 荒川堰用水路の下流部はたび重なる氾濫により、県道三本木涌谷線は通行どめとなり、付近の住宅も床上浸水となる。この対策の事業も計画されていると聞か、その方向性を伺う</p> <p>(7) 三本木高柳集落は、上流域に存在する名蓋川や集落南側を流れる長堀川の氾濫により、何度も陸の孤島状態になる。河道及び堤防の整備が必要と思う、所見を伺う</p> <p>2 高齢者支援としての公共交通対策事業のあり方について</p> <p>(1) 市で実施しているデマンドタクシーなどの地域内公共交通事業が実施されていない地域及び地区の高齢者に対して、今後、どのような施策を実施していくか、所見を伺う</p> <p>(2) 生活圏域を主軸として、他市町でも実施しているワゴン車による地域循環型バスの運行は考えていないか、所見を伺う</p> <p>(3) 現在実施しているグループタクシー事業を、後期高齢者以上を対象としたタクシー券の交付事業に切りかえ、実証事業をする考えはないか、所見を伺う</p> <p>1 災害時における市の対応について</p> <p>(1) 避難所について</p> <p>ア 避難所の人的対応について</p> <p>イ 高齢化に伴う福祉避難所の開設について</p> <p>(2) 自主防災組織との連携の検証について</p> <p>ア 自主防の目的が果たされているか</p> <p>2 義務教育2学期制について</p> <p>(1) 現行の3学期制から2学期制移行への考え</p> <p>(2) 移行した場合のメリット・デメリットをどう検証しているか</p> <p>3 岩出山中学校大規模改修工事について</p> <p>(1) 校舎は屋根がガラスであり、地震災害時に危険である。さらに現在校務センターや玄関入口、体育館等雨漏れが各所に見られる。大規模改修が必要ではないか</p> <p>4 岩出山小学校へのスクールバス乗り入れについて</p> <p>(1) 入口付近の工事が終わったが、スクールバスの乗り入れについて伺う</p> <p>(2) 乗り入れが不可能とすれば、現在の乗降場へのトイレ</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
20	10	佐藤弘樹	<p>の設置の検討が必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>1 台風19号に係る対応について</p> <p>(1) 災害の早期把握と職員配置の考え</p> <p>(2) 災害情報の発信と効果的な更新周知のあり方</p> <p>(3) なぜ仮設住宅は整備されなかったのか</p> <p>(4) 志田谷地地区における集団移転への考え</p> <p>(5) 自宅避難者への支援体制は</p> <p>(6) 災害ボランティアセンターとの協力・連携体制は</p> <p>(7) 局地災害時の情報伝達と救援・支援体制は</p> <p>(8) 避難所運営を効率的に図るための考え</p> <p>(9) 地区コミュニティーのあり方や再生するための意見交換会等の実施の考え</p> <p>(10) 国・県・市の補助制度周知の方法は</p>
21	3	鹿野良太	<p>1 次世代移動通信方式「5G」活用とICT推進に向けた本市の考え方と課題について</p> <p>(1) 本市における5Gの理解と考え方について</p> <p>ア 2020年春の日本での5G商用サービス開始が本市へ与える影響と効果について、どのように考えるか伺う</p> <p>イ 総務省の「ICTインフラ地域展開マスタープラン」について、本市の理解と取り組みを伺う</p> <p>ウ 本市への5G基地局設置時期とエリア範囲をどのように見込んでいるか伺う</p> <p>エ ローカル5Gの考え方について、所見を伺う</p> <p>(2) 本市における5Gの利活用について</p> <p>ア 市民病院本院・分院において、医療分野への活用をどのように考えているのか伺う</p> <p>イ 「災害に強い大崎市」実現のために、防災・減災における活用を図るべきと考えるが活用例と所見を伺う</p> <p>ウ モビリティへの活用例と所見を伺う</p> <p>エ 工場や観光への活用例と所見を伺う</p> <p>オ 世界農業遺産及びスマート農業への活用例と所見を伺う</p> <p>カ 教育現場での5G活用の可能性を伺う</p> <p>(3) 本市におけるICT推進と課題について</p> <p>ア 5GなどICTの応用分野は多岐に及ぶため、それらにかかわる考え方や課題には部局横断的な連携が求められている。ICTは本市の行く末を大きく左右することから市長直属でICT推進課を創設し、総務省や民間企業からICT推進監を招聘するなどの具体的な取り組みを早急に求めるが所見を伺う</p> <p>2 古川地域高倉地区を流れる多田川、名蓋川と、志田東部地区飯川を流れる旧渋川の整備について</p> <p>(1) 古川地域高倉地区の河川と橋梁管理の現状と今後について</p> <p>ア 矢目木橋は通行どめになってからしばらくそのままに</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
22	13	鎌内つぎ子	<p>なっており、地域住民から危険だと指摘があるが、撤去に向けた具体的なスケジュールを伺う</p> <p>イ 台風 19 号により、高倉地区内も浸水した。名蓋川破堤箇所ので急修繕がおくれ、浸水被害が拡大したという声を聞くが、県との連絡体制について伺う</p> <p>(2) 旧渋川の整備について</p> <p>ア 旧渋川にかかる板橋（飯川上）が通行時に危険だと指摘があるが、市の現状認識と今後の方針を伺う</p> <p>1 台風 19 号に伴う避難所の対応について</p> <p>(1) 本市の洪水ハザードマップでの避難所は適切だったのか</p> <p>ア 洪水時の避難確保計画が作成されているが十分だったのか</p> <p>イ 避難所の雨漏り対策について</p> <p>ウ 食料、寝具、テント、風呂などの対応について</p> <p>2 子育てしやすいまちづくりについて</p> <p>(1) 幼児教育・保育の無償化の実施に伴う対策について</p> <p>ア 待機児童の増による対策について</p> <p>イ 食料費の取り扱いについて</p> <p>ウ 保育士の基準以上の配置への支援について</p> <p>3 大崎市民病院田尻診療所の診療体制について</p> <p>(1) 認知症医療への取り組み状況</p> <p>(2) 総合診療医療の考え方</p>
23	9	佐藤講英	<p>1 災害から市民の命と財産を守る本市の対応について</p> <p>(1) 台風 19 号における水害対応の検証と今後の対応について</p> <p>ア 初動対応における職員体制と非常勤職員について</p> <p>イ 避難所におけるベッドや畳、簡易的な風呂の設置について</p> <p>ウ 地域的な被害における市民の支援（ボランティア活動等）について</p> <p>エ 河川の水位情報と洪水予防の水位周知の速報メール自動送信システム化について</p> <p>オ 国・県の管理にある河川の初動対応の検証と、本市の対応について</p> <p>カ 河川の越水や氾濫における消防団協力事業所の初動対応について</p> <p>キ 消防団、水防団の災害対応における資機材の整備と補償制度について</p> <p>ク 市民とともに考える早い段階での避難計画と周知について</p> <p>ケ 下水道の災害復旧事業のあり方とその後の市道復旧事業の対応について</p> <p>コ 災害廃棄物や稲わら処理の広域処理の確立について</p> <p>(2) 他市における台風 15 号の強風災害を検証した本市の対応について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
24	5	山口 壽	<p>ア 停電対応と農業施設等の補償制度の充実について</p> <p>(3) 災害における財政的な備えについて</p> <p>ア 災害救助法の発動によらない復旧復興の財政措置について</p> <p>1 安全で生活環境に配慮した市道整備の計画を今後どのように検討していくのか</p> <p>(1) 途切れのない市道管理不備の事故に対する今後の対策を伺う</p> <p>(2) 各総合支所管理の道路整備のあり方、計画、管理について伺う</p> <p>(3) 本市における人口減少と市内の国道、県道、市道等とのかかわりをどのように捉え考えているのか伺う</p> <p>2 これからの観光産業について、大崎市の新たな方針はあるのか</p> <p>(1) 大崎耕土世界農業遺産を、どのように結びつけて観光振興を考えているのか伺う</p> <p>(2) 観光地の広報活動は市内外に広く積極的に実施されているのか。また、市内観光地を活用した小中学校の地域学習はどの程度行われているのか伺う</p> <p>(3) インバウンド誘客対策として、海外での広報活動や観光地における案内板や説明等の外国語対応、ガイドの配置等の考えはあるのか伺う</p> <p>3 消費税増税に関して、本市の影響はいかがか</p> <p>(1) 各種手数料、使用料等の価格改正はどのように考えているのか伺う</p> <p>(2) 歳入に関しての影響はいかがか。また、増税による事業支出の増額をどれぐらい想定しているのか伺う</p>
25	26	木内知子	<p>1 台風19号被害における諸改善策について</p> <p>(1) 住家の被害判定は実態に合ったものに改定を求めべきだがどうか</p> <p>(2) 半壊判定世帯への見舞金を増額できないか</p> <p>(3) 情報伝達の手法と個人情報守秘との兼ね合いについて</p> <p>2 放射能汚染廃棄物の保管について</p> <p>(1) なぜ隔離保管ができないのか</p> <p>3 小中学校のプール利用状況について</p> <p>(1) 今夏のプールの利用状況はどうだったのか</p> <p>(2) 松山中学校のプールはどうするのか</p> <p>4 松山公民館へのエレベーター設置について</p> <p>(1) 各種秋まつりが終了し、改めてエレベーターの必要性が異口同音に出された。前倒しでの設置はできないか</p>